



ETK1245001

CFJB73-UCM<P1><P2>

住友電気工業株式会社

工法書

本品に油等が付着しますと、ネジ部に亀裂が発生し本来の特性を損なう恐れがありますので、下記の点につき注意して組み立てをお願いします。

(1) 取り付け場所の注意事項

本品を取り付ける際に、取り付け箇所に油等が付着していないか確認して、**油等が付着している場合はきれいに拭き取って下さい。**

(2) 本品を組み立てる際の注意事項

- ① アルコールやアセトン等の薬品での本品の清掃は行わないで下さい。
- ② 油等の付いた工具を用いて組み立てないで下さい。

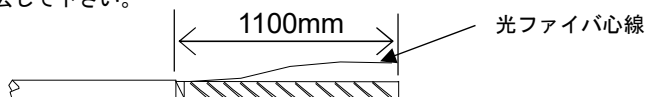
▽ 安全上のご注意 ～安全にご使用いただくために必ずお守りください～

下記には、人体への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用いただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次に示す通りになっております。内容を良くご理解のうえ本文をお読み下さい。

本製品に関する安全上のご注意	
<p>⚠ 危険</p> <p>右記内容を見逃して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が極めて高いことが想定されます。</p>	—
<p>⚠ 警告</p> <p>右記内容を見逃して誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定されます。</p>	<p>接続箱は、落下などの無いように、確実に固定して下さい。</p> <p>高所での施工時には、部品及び使用工具が落下しないようにご留意下さい。</p>
<p>⚠ 注意</p> <p>右記内容を見逃して、誤った取扱いをすると、人が損傷を負う可能性及び、物的損害の可能性が想定されます。</p>	<p>刃物などのご使用時には十分に注意して下さい。</p> <p>本製品の組立てには、本製品以外の部品を使用しないで下さい。</p> <p>締め付けトルクを規定した作業は、その規定を守って作業をして下さい。本製品の機能低下及び破損の原因となります。</p>
<p>お願い</p> <p>右記の内容を見逃して、誤った取扱いをすると、本製品の性能を発揮出来ない可能性及び、機能停止をまねく可能性が想定されます。</p>	<p>融着接続作業は、ご使用の融着接続機の取扱い説明書をご覧下さい。</p> <p>メカニカルプライス及び現地組立て型単心コネクタは、それぞれの取扱い説明書をご覧下さい。</p>

1. 光ケーブル外被の剥ぎ取りとスロットの切断

- 1) ケーブル外被と上巻を除去して下さい。



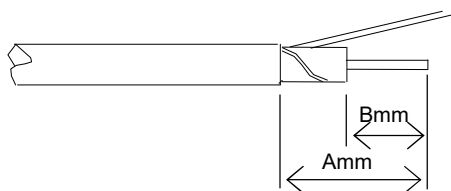
- 2) 光ファイバ心線に心線保護チューブを被せてください。



※心線保護チューブの長さは4)項を参照下さい。

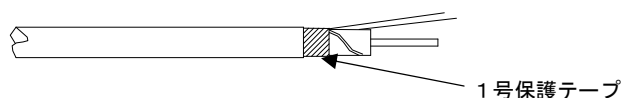
3) 下図寸法にてスロットの切断と、テンションメンバの剥き出しを行って下さい。

※心線に損傷を与えないように注意して下さい。



ケーブル導入方向	A	B	心線保護チューブ長
上導入	45mm	20mm	約 150mm
下導入	45mm	20mm	約 350mm
左右導入	70mm	50mm	約 350mm

4) 心線保護チューブ上に1号保護テープを2回以上巻き付けて固定して下さい。



5) 下図の要領に従ってTMホルダ又は、上導入用ケーブル把持具（オプション品）の固定を行なって下さい。

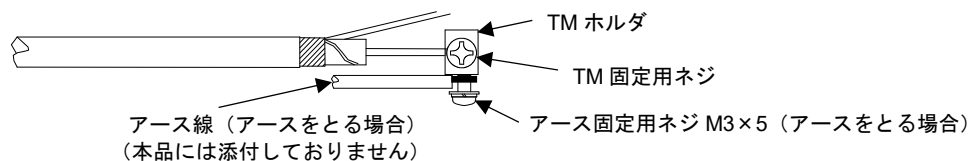
<左右導入及び下導入の場合>

下図の様にTMホルダをテンションメンバの先端にプラスドライバにてしっかり締め付けて固定して下さい。

●アースをとる際は、添付のアース固定用ネジ M3×5（ワッシャ、スプリングワッシャ付）を用いて下図のように固定して下さい。

<アースをとる際の注意事項>

- ・ケーブルが「下導入」「左導入」の場合は、TMホルダはそのままご使用下さい。
- ・ケーブルが「右導入」の場合は、TMホルダのTM固定用ネジを反対側に付け替えて下さい。
- ・アース固定用ネジは、次項『2. 光ファイバの収納』内、各ケーブル導入図に楕円で示す箇所にくるようにして下さい。



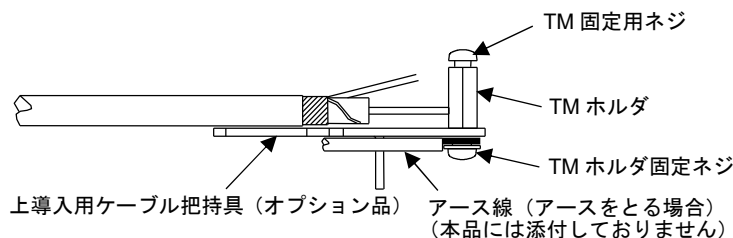
<右上導入及び左上導入の場合>

下図の様に添付の上導入用ケーブル把持具（オプション品）のTMホルダをテンションメンバの先端にプラスドライバにてしっかり締め付けて固定して下さい。

●アースをとる際は、TMホルダ固定ネジを使用して下図のように固定して下さい。

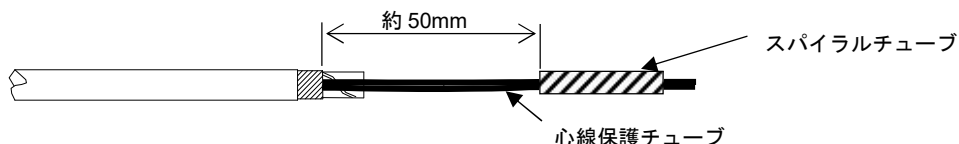
<アースをとる際の注意事項>

- ・アース線の固定は予めTMホルダ固定ネジを用いて上導入用ケーブル把持具（オプション品）にTMホルダのテンションメンバ挿入穴の向きに注意してしっかりと固定して下さい。



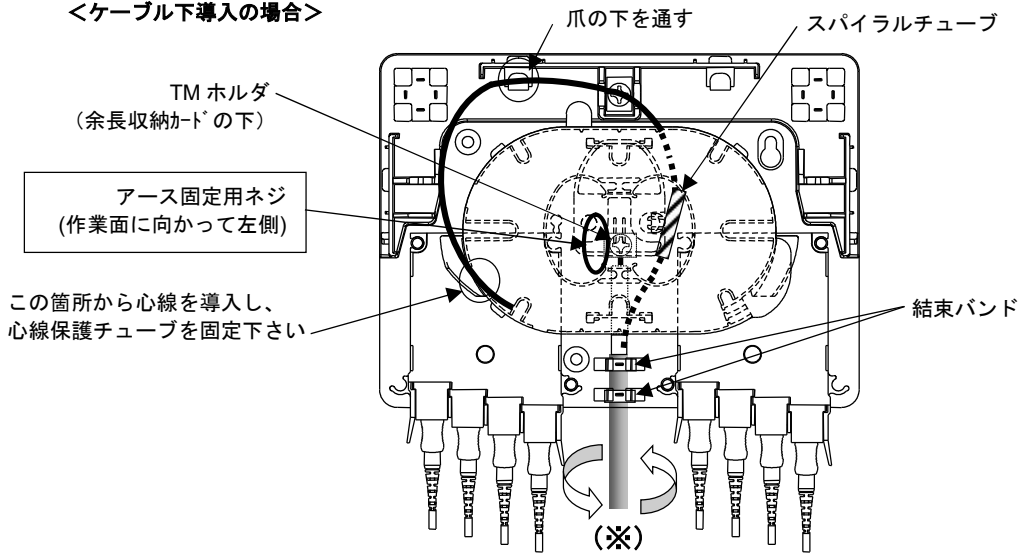
6) スパイラルチューブの取付け

下図のように複数本の心線保護チューブをスパイラルチューブ（50mm）で束ねて下さい。



2. 光ファイバの収納

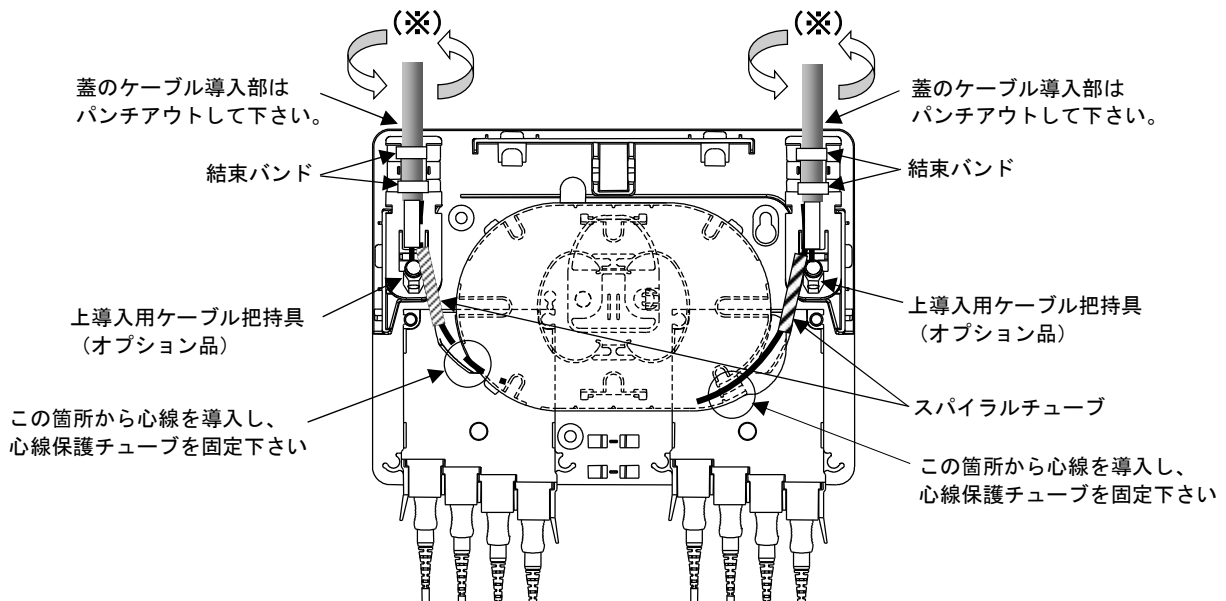
<ケーブル下導入の場合>



※ケーブルに過度な捻り・引張り・曲げを加えないで下さい。

<ケーブル左上・右上導入の場合>

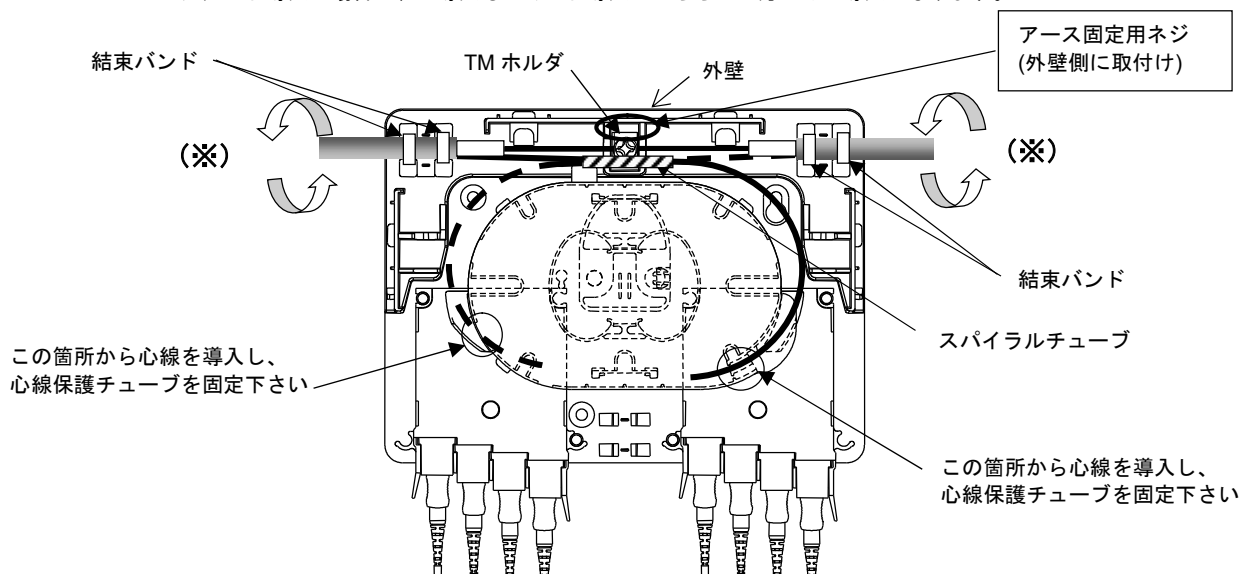
注) 左上右上導入の場合は、左上導入もしくは右上導入のどちらか一方のみの導入となります



※ケーブルに過度な捻り・引張り・曲げを加えないで下さい。

<ケーブル左右導入の場合>

注) 左右導入の場合は、左導入もしくは右導入のどちらか一方のみの導入となります。

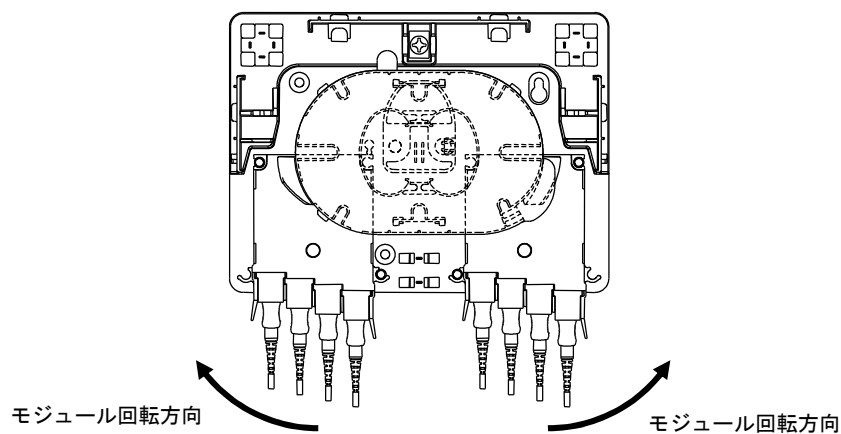


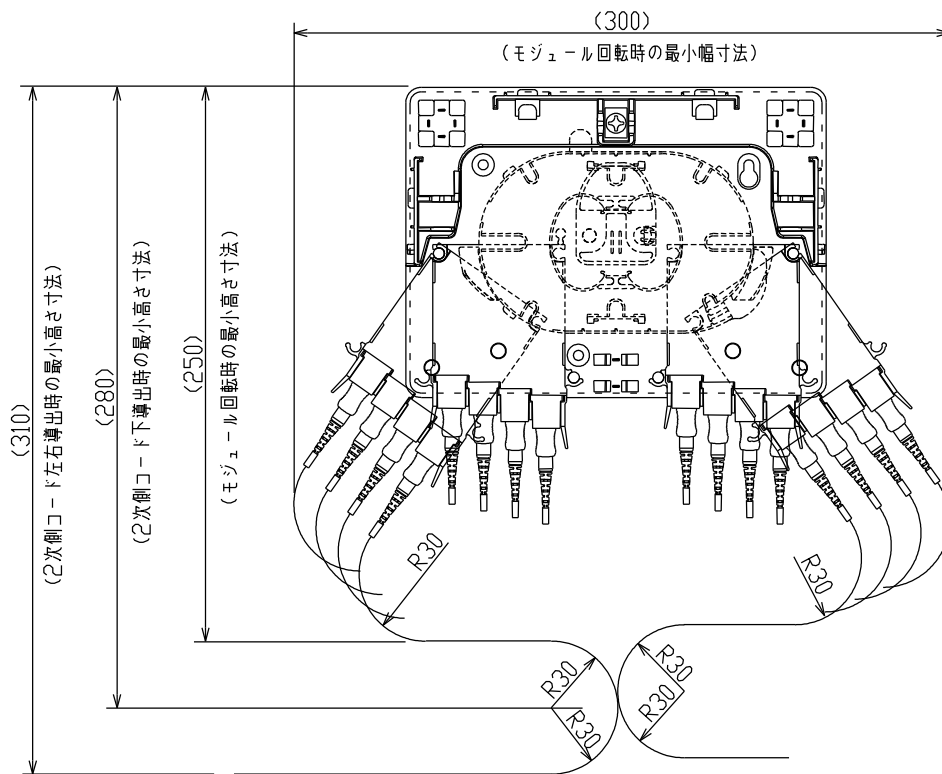
※ケーブルに過度な捻り・引張り・曲げを加えないで下さい。

3. コネクタの着脱

コネクタ着脱の際は、ミニプレ配線モジュールを下図のように回転させて、

※ミニプレ配線モジュールを手で支えながら作業して下さい。





配線スペースについて

—以上—